

第2回 がんばれ西高!

インターンシップで大活躍!

新三年生総合ビジネス科情報コース13名が
インターンシップで商店街を活性化!

松江西高生
商店街のマップ作製
京店43店の特徴を紹介

松江西高校（松江市上乃木3丁目）の生徒たちがインターンシップ（就業体験）の一環で、松江京店商店街（同市末次本町）のマップを作った。43店舗のお薦め商品や特徴を紹介しており、同商店街が各店に置き、客に配る予定。生徒たちはなじみの薄かった同商店街の魅力を発見するとともに、マップが活性化の一助になればと願っていた。

3月初めから月末にかけて、総合ビジネス科情報コース2年生（現3年生）男女13人が作った。同商店街をインターンシップ先を選んだところ、過去に同校生徒が他の商店街のマップ作製をしていたことから、京店商店街がマップ作りを頼んだ。

情報処理を学ぶ生徒らしく、パソコンで作って渡した。表面はほのぼのとしたイラスト付き地図で、裏面が各店の紹介。生徒たちは若者が喜びそうな飲食店が多く、歴史の古い老舗があることを知り、関心を持つようになったという。三上宇恭君（17）は「和菓子のおいしい店があり、また行ってみたい」と話した。

同商店街はA4サイズで100枚刷り、3日の松江武者行列の際、市街に繰り出した見物客に配った。さらに千枚刷り、各店で配る。



マップを広げる生徒たち

山陰中央新報2010.4.10掲載